



平成28年11月11日

第21回留萌開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

平成28年10月3日(月)に開催された第21回留萌開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2312
技術管理課 課長 国島 英樹 (内線 391)
課長補佐 今井 正欣 (内線 392)

第 2 1 回留萌開発建設部総合評価審査委員会概要

開催日及び場所	平成 2 8 年 1 0 月 3 日（月） 15:00 ～ 17:00 留萌開発建設部 第 1 会議室	
委 員	蟹 江 俊 仁（北海道大学大学院工学研究院教授） 神 谷 光 彦（北海道科学大学名誉教授） 谷 野 賢 二（東海大学生物学部非常勤講師） （五十音順）	
審議対象期間	平成 2 8 年 1 月 1 日～平成 2 8 年 6 月 3 0 日	
議 事 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 留萌開発建設部が発注した総合評価方式による工事及び建設コンサルタント業務の実施状況報告 2 抽出工事及び建設コンサルタント業務の報告 3 抽出工事及び建設コンサルタント業務の審議 	
委員からの意見・質問、それに関する回答		
意 見 ・ 質 問	回 答	
<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留萌開発建設部 総合評価落札方式実施状況 ・抽出工事及び建設コンサルタント業務 <p>維持工事のすべてで入札参加者が 1 者なのは 何故か。</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式で、1 者だけを 指名した業務があるのは何故か。</p> <p>【審議】 総合評価落札方式等の実施結果 ○一般国道 4 0 号 天塩町 天塩改良工事 （一般競争入札・総合評価 （施工能力評価 I 型 施工計画重視型））</p> <p>現場保全対策の計画図面を施工前に提出する 提案が評価されなかったのは何故か。</p> <p>載荷盛土の工程管理の提案は、管理基準値を 具体的に示さなくても良かったのか。</p>	<p>夜間や荒天時などの緊急対応が求められる ため、工事区域から遠い業者には受注意欲が 無かったものと推察される。</p> <p>簡易公募型は、応募者の中から入札参加要 件を満たした者を指名するが、その業務では 応募者が 1 者だけであった。</p> <p>この提案書面には、対策の範囲を具体的に 示す記述も計画図面も無いため、提案された 対策方法の有効性が不明である。</p> <p>この工事は予測沈下量を公示しておらず、 受注前の管理基準値設定は不可能である。</p>	

委員からの意見・質問、それに関する回答	
意見・質問	回答
<p>盛土材の保温方法のみを提案した者と、温度の管理基準値も併せて提案した者が同じ評価なのは何故か。</p> <p>作業時の安全対策で、軟弱地盤上の重機足場への鉄板敷設が評価されなかったのは何故か。</p> <p>○産土地区 第6号排水路工事 (一般競争入札・総合評価 (施工能力評価I型 施工計画重視型))</p> <p>降雨量が警報基準値に達した場合に、全ての資機材及び労務者を待避させる提案が評価されなかったのは何故か。</p> <p>出題②「仮締切の施工方法」と出題③「排水路施工時における周辺環境対策」の両方に同じ内容の提案が可能なのではないか。</p> <p>環境対策の提案で、施工量が具体的でないとの理由で評価されなかったのは何故か。</p> <p>○留萌川 浸水想定区域検討業務 (標準プロポーザル)</p> <p>流出解析の前提条件とされている調査項目を、流出解析後に再調査するフロー図が評価されたのは何故か。</p> <p>○留萌開発建設部管内 道路整備効果検討業務 (標準プロポーザル)</p> <p>特定テーマにおいて、同じような提案項目で評価結果に差異があるのは何故か。</p> <p>類似実績を評価されなかった者があるのは何故か。</p> <p>フロー図の照査の後の手順については、業務内容に照らして妥当かどうかを確認すると良い。</p>	<p>この現場では、盛土材を全く凍らせない施工が困難なので、オーバースペック防止のために温度の基準値は評価しなかった。</p> <p>この工事の特記仕様書に敷鉄板の設計変更を明示しているので、評価しなかった。</p> <p>この警報基準値は、豪雨災害や労災事故が懸念されるほど大きな値である。この値に達する前に待避作業を開始すべきである。</p> <p>仮締切と排水路本線は位置が違うので別々に出題した。出題には今後も留意したい。</p> <p>その対策の施工範囲が曖昧で、オーバースペックが懸念されるため評価しなかった。</p> <p>従来の計画規模を超える降雨を対象にしているので、予測氾濫区域の拡大に応じて調査区域も拡大する必要があるためである。</p> <p>評価されなかった者は、提案内容が抽象的なため、有効性が読み取れなかった。</p> <p>特定テーマで評価した提案の類似実績を評価対象としているからである。</p> <p>フロー図の評価には今後も留意したい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>